

平成30年度 第5回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会 報告書

日 時：平成30年8月16日（木）9：30～12：00

場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター 第1研修室

- 1-1 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業（多機関の協働による包括的支援体制構築事業）モデル事業」について 高松市障がい福祉課 石原氏より説明がありました。

これまでの福祉サービスは高齢者、子ども、障がい者等、分野ごとに充実させるもので縦に割ってそれぞれで対応するものでしたが、世帯単位で複数の課題を抱えている状況も多くみられ、それぞれのシステムでは対応しきれなくなっている現状があります。

そこで、地域では住民が主体的に地域課題を他人事ではなく「我が事」として把握して、「丸ごと」受け止めて解決を試みる体制づくりを行うことが大事となってきました。

高松市では包括的な相談支援体制づくりの取り組みのひとつとして相談支援包括化推進員（まるごと福祉相談員）を配置することになりました。今年度は2つのエリアでモデル事業を実施していきます。

- 1-2 「緊急時のことを想定して、サービス等利用計画に反映させること」について 基幹相談支援センター中核より説明がありました。

・高松市、三木町、直島町それぞれで地域生活支援拠点が始まっています。高松市の地域生活支援拠点事業は「地域の体制づくり」、「人材育成」、「地域生活コーディネート」、「体験の機会・場」、「緊急時の受け入れ」の5つに主眼をおいています。

・そのなかの「緊急時の受け入れ」については高松市内の障害児者が、緊急時においても当面安全に過ごせ、その後の生活をどうしていくかの相談ができる体制をつくることを目的としています。計画相談を利用している方は相談支援専門員が本人、家族ほか関係者と想定される緊急時について話し合い、その時に、またその時のためにどうするかを話し合ったうえで時期を見ながら「サービス等利用計画」に盛り込んでいく必要があります。

（今回の「緊急時」は災害時を対象とはしていませんが、相談があった場合はまず担当者で対応し、希望される方はサービス等利用計画に盛り込みます。）

## 2. 情報共有等

- ・相談支援事業所ウェルネスサポートが8月1日より開所しています。
- ・三木町の放課後等デイサービス「すくすくクリニックこにし」が児童発達支援事業を始めています。

## 3. 事例検討（グループスーパービジョン）

- ・22名が参加しました。3グループに分かれてひとつの事例を検討したところ、合計37ものアイデアが出ました。事例提供者からは「参考になることが多かった」、「情報を収集してご本人に提供していきたい」との感想がありました。
- ・グループスーパービジョンは否定的なことを言わないというルールがあるので、楽しく事例検討ができます。みんなの意見が合わさって自分では思いつかないような意見やいいアイデアが出てきます。事例提供者には3, 4か月後にその後の経過を報告してもらう予定です。

次回相談支援部会 開催日について

平成30年9月20日(木) 9:30~12:00 第2研修室

以上